

第 10 回 総会議案書

- | | |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 令和 3 年 5 月 21 日 (金) 午後 4 時 30 分 |
| 2. 場 所 | 大阪市北区天満橋 1-8-50
帝国ホテル大阪 |
| 3. 議 案 | 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告承認の件
第 2 号議案 令和 2 年度決算報告承認の件
第 3 号議案 理事の補充・選任の件 |
| 4. 報 告 | 令和 3 年度 事業計画
令和 3 年度 予算
その他 表彰等 |

第1号議案 令和2年度事業報告承認の件

【令和2年度事業報告書】

総務委員会事業報告

1. 諸会議の進行

- (1) 総会 第9回総会 令和2年5月15日(金)「マイドームおおさか」にて開催
- (2) 理事会 5月以降毎月1回開催
- (3) 監事会 上期、下期各1回 令和2年4月21日(火)、令和2年11月27日(金)開催
- (4) 戦略会議 年度計5回開催
- (5) 総務委員会 年度計13回開催
- (6) 役員研修会 全役員を対象に令和2年6月20日(土) オンライン開催
- (7) 役員・委員交流会 全役員、委員を対象に令和2年12月10日(木) オンライン開催

2. 事業計画、決算・予算

- (1) 決算に向けた仕訳業務を随時実施
- (2) 予算実績管理を毎月実施

3. 規程管理

- (1) コンプライアンス規程、青年部規約、推薦者等選定規程を制定した。
- (2) 業務分掌規程、理事会運営規則、会議室利用規則を改定した。

4. 渉外事項

令和2年度は、コロナ禍の影響もあり、関係団体の総会をはじめ新年互礼会等の案内はなく、特筆すべき事項はなかった。

5. 事務局管理

- (1) 事務局員の雇用管理の整備の観点から4月1日から賃金規程の改定に伴う、新賃金制度の運用をスタートした。
- (2) 新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、大阪府において緊急事態宣言発出中においては、ガイドラインにのっとり弾力的な勤務体制を導入した。
- (3) 事務局会議を令和2年9月2日、10月2日、11月4日、12月4日、令和3年1月7日に実施した。
- (4) 事務局の業務分担表を作成し、事務職職員の業務内容を明確化した。

- (5) e-learning の視聴を事務局職員に推奨し、能力向上を計画的に進めた。
- (6) 情報セキュリティ研修を実施し、IT リテラシー向上とセキュリティ意識の向上に努めた。

6. 業務効率化

- (1) ウイズ・コロナに対応するため、Zoom アカウントを各委員会に割り当て、オンラインでのコミュニケーションの体制を整えた。
- (2) オンライン会議に対応するためのマイクスピーカーを購入し、各種会議の効率化に寄与した。
- (3) 業務効率化のために Adobe Acrobat Reader のソフトを購入した。

7. 組織率向上

組織率向上を図るために会員アンケートを実施し、調査結果を分析し協会 HP に掲載した。

8. 慶弔関係

慶弔規程に基づき、3 件の供花、3 件の弔電、1 件の香典を行った。

9. 青年部関連

下記のとおり、青年部の例会行事に対し各種支援を行った

- (1) 5 月 26 日 (火) 「今、診断士にできること」オンライン開催
- (2) 7 月 18 日 (土) 「診断士の歩き方」リアル+オンライン併用開催
- (3) 8 月 8 日 (土) 「技術士×診断士 Zoom プレ講演会」オンライン開催
- (4) 8 月 28 日 (金) 「オンライン暑気払い」オンライン開催
- (5) 9 月 28 日 (月) 「ヤングリーダー講演会 第 1 弾」リアル+オンライン併用開催
- (6) 10 月 31 日 (土) 「技術士×診断士 WEB 大討論会」オンライン開催
- (7) 12 月 5 日 (土) 「ヤングリーダー講演会 第 2 弾」リアル+オンライン併用開催
- (8) 1 月 9 日 (土) 「新春交流会」オンライン開催

10. 企業会員プロジェクトチームの活動

中小企業診断士のファン作り、診断士が関与できる先を増やすこと、実習先の確保などを目的に、大阪府内の中小企業および個人事業主を対象とした企業会員制度を設けるための検討を始めた。

11. 会議・行事に関係役員ほか随時出席・参加

月 日	会 議 ・ 行 事 名	出 席 者
令和2年5月22日	本部 理事会	風谷 昌彦
令和2年6月17日	中小企業診断協会（本部） 定時総会	北口 祐規子
同上	本部 理事会	北口 祐規子
令和2年8月27日	本部 業務委員会・国際委員会合同会議	北口 祐規子 小野 知己
令和2年9月2日	本部 広報委員会	池田 朋之
令和2年9月9日	本部 登録機関委員会	横山 武史
令和2年9月18日	本部 理事会	北口 祐規子
令和2年11月5日	本部 中小企業経営診断シンポジウム	津田 敏夫
令和2年11月11日	近畿ブロック会議（担当：兵庫県協会）	北口 祐規子 小野 知己 池田 朋之
令和2年11月16日	本部 業務委員会	北口 祐規子
令和2年12月8日	本部 理事会	北口 祐規子
令和3年2月2日	本部 登録機関委員会	横山 武史
令和3年2月17日	本部 広報委員会	池田 朋之
令和3年3月2日	本部 業務委員会・国際委員会合同会議	北口 祐規子 小野 知己
令和3年3月17日	本部 理事会	北口 祐規子

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、11月5日の中小企業経営診断シンポジウムを除き、令和2年度はすべてリモートにより参加。

広報委員会事業報告

1. 会報「中小企業診断士」の定期発行

年4回（4月・7月・10月・1月号）発行。（発行部数 1,500部）

特集記事として、「青年部の活動」、「表彰を受けた研究会論文要旨」を取り上げ、府協会の特色でもある積極的な取組みを紹介するとともに、「プロコンの活動紹介」、「私が考える！日本の武将に見る戦略論」など、各会員の活動やユニークな着眼点から経営に役立つ記事を寄稿いただいた。

また、10月号には、コロナ禍にあっても積極的に事業を展開している株式会社ダイワトーイ 代表取締役 山本和秀氏のインタビューや、1月号には、DXに関する記事掲載など、時流を踏まえた企画に留意するとともに、その他協会活動の紹介など、見やすい会報となるよう編集作業を実施した。

会報はPDF化して全ページを協会HPにアップした。

2. 「メールニュース」の定期配信

月1回（原則毎月10日）、計12回を配信。

新型コロナウイルス感染拡大防止に関する注意喚起文を追記した。

3. ホームページの更新

登録研究会の変更に伴う更新を行うとともに、毎月開催し会報誌に要約を掲載しているスキルアップ研修の記事を、「診断士が伝えるビジネスの勘所」として毎月更新、会員診断士の得意分野などネットを通じて発信した。

また、新型コロナウイルス感染症対策の支援施策情報ページの開設、更新を行った。

4. 挟み込みパンフレットの定期更新

挟み込みパンフレットについて、定期的に情報修正を行った。

5. 情報発信の強化策の検討

協会活動の情報を内外に対してより積極的に取り組んでいくため、アプローチ先の洗い出し、新たな広告媒体の活用や施策について、検討を行った。

6. 本部会報「企業診断ニュース こんにちは、〇県協会」の原稿作成

本部の要請により持ち回り記事である各協会の活動内容紹介について、原稿の作成を行った。記事は、企業診断ニュース11月号に掲載された。

7. 委員会の開催

広報委員会の運営等に関する各種会議等を行った。

定例委員会 7回、編集委員会 8回 計15回

受託事業委員会事業報告

1. 受託事業委員会開催

年度内に計12回開催した。

令和2年6月9日、6月29日、7月28日、8月17日、9月7日、9月23日、
10月7日、11月5日、12月14日、令和3年1月18日、2月25日、3月11日

2. 中小企業診断士試験

(1) 令和2年度第1次試験

実施日	令和2年7月11日(土)、12日(日)
会場・申込者数	大阪経済大学：520名 大阪アカデミア：516名 大和大学：345名 天満研修センター：307名 神戸国際展示場：1,036名 みやこめっせ：973名 合計 3,697名 (令和元年度 3,879名)

(2) 令和2年度第2次試験(筆記)

実施日	令和2年10月25日(日)
会場・申込者数	マイドームおおさか：824名 大阪経済大学：443名 合計 1,267名 (令和元年度 1,110名)

令和2年度第2次試験(口述)

実施日	令和2年12月20日(日)
会場	大阪科学技術センター
申込者数	合計 187名 (令和元年度 270名)

3. 実務補習

(1) 令和2年度夏期コース

1) 7月コース

実施日	令和2年7月17日(金)～7月27日(月)
受講者数	8班、48名(令和元年度 8班 42名)

2) 8月コース

実施日 令和2年8月21日(金)～8月31日(月)

受講者数 12班 68名(令和元年度 9班 49名)

3) 9月コース

実施日 令和2年9月11日(金)～9月23日(水)

受講者数 7班 38名(令和元年度 5班 27名)

(2) 令和2年度冬期コース

1) 5日間コース

実施日 令和3年2月5日(金)～15日(月)

受講者数 17班 82名(令和元年度 13班 77名)

実施日 令和3年2月19日(金)～3月1日(月)

受講者数 3班 9名(令和元年度 実施なし)

実施日 令和3年3月5日(金)～15日(月)

受講者数 6班 26名(令和元年度 4班 23名)

2) 15日間コース

実施日 令和3年2月5日(金)～3月15日(月)

受講者数 9班 48名(令和元年度 13班 75名)

4. 理論政策更新研修

実施日 令和2年7月30日(木)～令和3年2月20日(土)までに
計15回実施。うち3回はリモート研修

受講者数 1,408名(令和元年度 計12回実施 1,699名)

5. 個別診断実務従事事業

(1) 春季コース

受講生が任意に希望するコースを選ぶ方式により、9コース、47名の受講があった。

(令和元年度 9コース 52名)

(2) 秋季コース

春季と同様の方法で、9コース、49名の受講があった。

(令和元年度 8コース 44名)

6. 本部主催の連絡会議

下記のとおり出席した。

第1次試験事務連絡会議	5月14日(木)	左川睦子、田原勇也
第2次試験事務連絡会議	9月15日(火)	左川睦子、田原勇也
第2次試験口述面接員説明会	12月17日(木)	左川睦子、田原勇也

臨時試験会議	6月2日(火)	左川睦子、田原勇也
	7月15日(水)	田原勇也
	7月30日(木)	田原勇也
	8月28日(金)	左川睦子、田原勇也

但し、令和2年度はすべてweb会議で実施された。

7. その他

委員会以外に、試験・実務補習・実務従事などの打ち合わせ、および準備作業、説明会開催、リモート理論政策更新研修リハーサルなど、随時実施した。

会員サポート委員会事業報告

1. 交流会の開催支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催

2. 新歓フェスタ

令和2年8月10日オンライン開催 申込者数300名（対前年+11名）、瞬間最大参加者数246名（平成29年度252名、平成30年度265名、令和元年度276名）

3. 秋の歓迎会開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催

（平成29年度80名、平成30年度63名、令和元年度82名）

4. 新年互礼会

令和3年1月9日オンライン開催 申込者数148名（対前年-30名）、最大瞬間参加者数106名（平成29年度144名、平成30年度142名、令和元年度178名）

5. 合同交流会の開催

昨年度に続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

過去の参加者（平成28年度27名、平成29年度36名、平成30年度38名）

6. 登録研究会

(1) 42研究会が活動 参加者総数813名で、昨年は730名であったので83名増となった。

No.	名称	備考	No.	名称	備考
1	ISO研究会		22	事業革新研究会	
2	アプリ活用研究会	新設	23	事業継続力強化・BCP研究会	
3	WEBマーケティング研究会	新設	24	事業承継&ファミリービジネス研究会	
4	HSP×経営研究会		25	システムデザイン・マネジメント研究会	
5	M&A研究会		26	実践ITコンサルティング研究会	
6	エリアファイナンス研究会		27	実践イノベーション研究会	
7	観光・サービス経営研究会		28	住環境研究会	
8	感性工学研究会		29	ソーシャルイノベーション研究会	
9	企業再生研究会		30	組織開発研究会	
10	企業内診断士活性化研究会		31	WB P研究会	
11	企業リスクマネジメント(ERM)研究会		32	知的資産経営研究会	
12	技術向上研究会		33	中小企業人づくり研究会	
13	経営デザイン研究会		34	電機業界研究会	
14	原価管理研究会		35	農業経営研究会	
15	健康経営研究会		36	ピザの会	
16	コーチング研究会		37	ビジネスゲーム研究会	新設
17	顧客満足経営(CSM)研究会		38	VR・AR研究会	新設
18	国際派診断士研究会		39	フードビジネス研究会	新設
19	最先端ビジネス研究会		40	プライベートバンク研究会	
20	サステナブル経営/SDGs研究会	新設	41	プレゼンスキルアップ研究会	
21	サプライチェーン・マネジメント研究会		42	モノづくり活性化研究会	

(2) 論文の評価、表彰

	研究会名	論文名称
最優秀賞	該当なし	
優 秀 賞	事業革新研究会	With コロナ時代の未来への意思決定の研究
努 力 賞	最先端ビジネス研究会	中小企業のシェアリングエコノミーへの関わり方
	企業リスクマネジメント研究会	中小企業のリスクマネジメントへの関わり方

(3) 活動成果の評価、表彰

	研究会名	テーマ
優 秀 賞	知的資産経営研究会	令和 2 年度における積極的な研究会活動について
努 力 賞	事業革新研究会	2020 年経営革新、ビジネスモデルの研究
	ISO 研究会	事例から学ぶ ISO 内部監査の在り方
	顧客満足経営研究会	経営者としての“在り方”が真の顧客満足を生み出す
	実践 IT コンサルティング研究会	ABCDEFGH 手法（仮称）による実践的 IT コンサルティングのツール研究
	住環境研究会	コロナ禍における住環境関連業界の現状と生き残り策の方向性に関する研究
	技術向上研究会	デジタル技術の活用による顧客創造
	モノづくり活性化研究会	「5S」「TOC」「IOT」の各分科会活動、自由テーマ発表活動、およびセミナー開催により学識・経験・技法の深化を図る

7. 分科会（業種別交流会）活動

- ・独立希望者の会
- ・不動産業界交流会

8. 会員限定facebookグループ「ゆるつな」の運営

会員限定facebookグループ「ゆるつな」を運営し、「学ぶ」「求む」「集う」「アピールする」「語り合う」をテーマに、SNS上での会員相互交流の場を提供。

3月末時点の利用者数は289名。

9. 「ゆるつなカレッジ」の運営

診断士資格の活用方法修得や同期のつながり強化を目的とする学びの場「ゆるつなカレッジ」（第3期）を本年度は全回オンラインで実施し、62名の申込みがあった。

下記5回開催。

実施日	テーマ	ゲスト	参加者
令和2年 9月17日	キックオフ・オリエンテーション	小野副理事長	54
10月29日	あなたの知らない診断士の世界	北口理事長 小野副理事長	53
12月3日	診断士 Now&Future～診断士の使い方	小野副理事長	41
令和3年 1月19日	診断士としての稼ぎ方	小野副理事長 青木 宏人氏	47
2月18日	本当に使える診断士のスキルとは	小野副理事長 山口 透氏	39
3月18日	診断士としての宣言！～同期に誓う自分の決意～	北口理事長 小野理事 横山理事	41

研修委員会事業報告

コロナ禍にあつて、Zoom の積極活用によるオンラインセミナーの増強を図り、上期で 702 名、下期で 716 名、通期で 1,418 名にのぼる会員参加を頂き、研修事業を通じて府協会活動に貢献した。

1. スキルアップ研修

府協会では毎月開催の研修定番メニューで、数十年継続している。主な講師は登録研究会からの選出や会員が務める。研究会成果発露の場や会員相互の研鑽の場でもある。参加費は無料。令和 2 年度は、Zoom を活用した。

実施日	テーマ	講師	参加者
4 月 22 日	診断士のためのコーチングのすすめ	奥野 智洋	71
6 月 24 日	中小企業診断士として行いたい「クライアント企業への健康経営サポートとは」	原 幸彦	64
7 月 22 日	潜在ニーズから考える製品・サービス開発「デザイン思考」のアプローチ	鱧谷 友樹	53
8 月 26 日	働き方改革で残業ゼロ	北村 孝嗣	57
9 月 23 日	MS 方式での原価管理と診断士が取り組む理由	笠井 健一	61
10 月 28 日	社長！そんな金融商品買っちゃダメ！	荒武 貞雄	76
11 月 25 日	中小企業診断士が知っておきたい経営ツールとしての ISO 活用方法	加藤 慎祐	48
12 月 23 日	無料 BI ツールでここまでできる！データ活用事始め	藤井 善寿	125
1 月 27 日	診断士のための SDGs 入門	太田 宜志	99
2 月 24 日	診断士のためのライフプランニング	静 広治	37
3 月 24 日	企業内診断士向け独立 1 年目のリアル	星 雄仁 判治 雅俊	42
		合計	733

開催数 11 回、参加者総数 733 名（昨年度開催 11 回 368 名）

2. 土曜セミナーの実施

スキルアップ研修よりもテーマの自由度は高く、講師招聘の対象範囲も広げ、テーマに相応しい講師を招聘することになっている。土曜に実施することで、平日開催するセミナーより時間をかけて集合形式やワークショップ形式なども採用し、じっくり研修できる場としている。テーマによっては参加費を徴収している。

令和2年度は、コロナ感染症対応もあり、昨年度の積極開催実績13回から4回と回数は減少した。

実施日	テーマ	講師	参加者
5月30日	顧客にYESと言わせる、継続的に顧客を獲得する実践型コーチングセールス講座【集合形式】	松岡 孝敬	47
7月18日	独立支援セミナー（心・技・体）【集合形式】	酒井 眞 中尾 博一 辻 紳一	33
11月21日	ビジネスゲームで経営戦略を学ぼう【ワークショップ】	薄木 英治 内藤 秀治 荒井 竜哉 五味 義也	11
3月20日	計測できないものは改善できない～RESAS・産業連関表など地域経済活性化ツールの活用【オンライン】	若島 浩文	61
		合計	152

開催数 4回 参加者数 152名（昨年度開催13回 493名）

3. オンラインショートセミナー

Zoom を前提とした約1時間のオンラインのショートセミナーを新規に企画・実施している。

実施日	テーマ	講師	参加者
5月1日	診断士のための Zoom 入門①	柳瀬 智雄	75
5月8日	在庫最適化が企業支援の決め手	小野 知己	70
5月18日	診断士のための Zoom 入門②	柳瀬 智雄	75
5月20日	中小機構「ここからアプリで業務改善」	(中小機構) 中辻 一浩	96
11月18日	いまさら聞けない「駅ナカビジネス業界編」～診断士の基礎知識～	松原 啓雄	51
1月20日	いまさら聞けない「自動車業界の変革：CASE」～診断士の基礎知識～	岡本 隆	63
2月17日	『海外研修プレセミナー：元台湾在住診断士が語る台湾の今』	長野 翔太 (東京協会会員)	69
3月17日	女性14名の経営者兼労働者による試み～ゆるやかに持続可能な働き方の実現～	外山 恵美子 (大分県協会会員)	34
		合計	533

開催数 8回 参加者総数 533名 (昨年度開催実績なし)

4. その他

海外研修旅行は連携事業委員会に移管

連携事業委員会事業報告

令和2年度に新設された委員会として、国際化・グローバル対応に関する事業、関係機関・他士業・他都道府県協会などとの連携に関する事業、中小企業診断士の日イベントの開催支援を中心に委員会活動を行った。

1. 委員会の開催

連携事業委員会立上げ会議 2回開催

連携事業委員会 年度計11回開催

2. 国際化・グローバル対応に関する活動

(1) オンライン海外研修の実施

令和3年2月23日 台湾オンライン研修旅行

13回目の府協会の海外研修旅行は、コロナ禍で現地に赴くことは難しいことから、オンラインの形で実施した。

オンラインでの開催ということで、参加者は大阪80名、東京27名、沖縄13名、奈良6名、兵庫3名、京都・愛知・埼玉各1名の132名であった。まず、ツアーセッションとして台湾現地から人気観光地や街の様子のLIVE中継、台湾でのコロナ対応の紹介などがあり、活発なQ&Aで盛り上がった。後半の交流セッションでは台湾在住診断士によるセミナー、テーマを定めて参加者同士で意見交換する交流を行った。

(2) グローバルセミナーの実施（研修委員会のオンラインショートセミナーと連携）

令和3年2月17日 「元台湾在住診断士が語る台湾の今」参加者69名

(3) 他都道府県協会との国際化・グローバル対応に関する情報交換の実施

令和2年12月15日 東京協会国際部

(4) 他都道府県協会の国際化・グローバル対応に関するイベントへの参加

・東京協会公認ワールドビジネス研究会（WBS）

令和2年7月16日 「(一社)在日ベトナム人協会の活動について～技能研修生などの支援等～」参加者23名

令和2年10月15日「新しいカタチの海外研修旅行にはじまる府協会の国際化への取組み」参加者11名

3. 関係機関・他士業・他都道府県協会・診断士会との連携

(1) 大阪弁護士会との連携

コロナ禍のため、令和2年度の交流は中止となった。

(2) 日本弁理士会関西会との連携

打合せ、ディスカッションなどを年度計8回実施した。ディスカッションテーマと

して、「今治タオル（地域団体商標）」、「瀬戸内レモン」「広島レモン」「小豆島オーブ」などの地域ブランドの成功事例」。

(3) 他都道府県協会との連携

近畿ブロック 5 府県協会、会長・理事との面談

令和 2 年 8 月 4 日 兵庫県協会に訪問

令和 2 年 8 月 6 日 京都府協会に訪問、滋賀県協会（大阪府協会で面談）

令和 2 年 8 月 8 日 奈良県協会に訪問

令和 2 年 8 月 11 日 和歌山県協会に訪問

この面談にて、令和 2 年 11 月 3 日に開催した中小企業診断士の日記念イベントの
パネルディスカッションへの登壇を依頼し、快諾いただいた。

(4) 大阪中小企業診断士会との連携

診断士会・企画部との情報交換を行う打合せなどを年度計 10 回実施した。

4. 中小企業診断士の日記念イベントの開催

令和 2 年 11 月 3 日（火）に診断士会と府協会共同してオンラインで開催した中小企業診断士の日記念イベント「ウィズコロナ時代 中小企業とあゆむ診断士」に 221 名（CH1：221 名、CH2：81 名、CH3：149 名）が参加した。イベント開催後には、動画配信も実施した。

メイン企画として、近畿ブロック（大阪、京都、滋賀、奈良、兵庫、福井、和歌山）の診断士協会トップによるディスカッションを行った。テーマ「ウィズコロナ時代の診断士の役割とは？」。

セミナーパートでは 3 つのセッションに分けて実施した。セミナーの内容は以下のとおりである。

・セッション 1（message for 支援機関・一般）

「コロナ禍における企業再生」 大阪府中小企業診断協会 副理事長 津田敏夫氏

「今後の事業継承と中小企業診断士の役割」

大阪中小企業診断士会 副理事長 石橋研一氏

「コロナ後の中小企業の海外事業の意義と中小企業診断士による支援とは」

国際派診断士研究会 杉浦直樹氏

・セッション 2（message for 中小事業者）

「事業継続力強化のススメ」 事業継続力強化・BCP研究会 福嶋康徳氏

「ピンチをチャンスに変える「経営デザインシート」の創り方」

経営デザイン研究会 井上朋宏氏

「With/After コロナ時代の観光事業戦略と国家施策活用術」

観光・サービス経営研究会 五味義也氏・松本壮樹氏

・セッション3 (message for 中小企業診断士)

「中小企業支援における組織開発の可能性」 組織開発研究会 中川雅之氏

「「伝わる力」をアップする！スライド作成のノウハウ」

株式会社経営とデザイン 松尾健治氏

「診断士の営業とは」 ルイスコンサルティング株式会社 中島 篤氏

会 員 移 動
(正会員・準会員・賛助会員)

* 期首会員数		1,070 名
* 期中入会数		127 名
	新規入会数	123 名
	移籍会員数（転入）	3 名
	海外出張帰国者数	1 名
	賛助会員数（追加）	0 名
* 期中退会数		94 名
	移籍会員数（転出）	21 名
	退会・死亡・除籍会員数	73 名
	海外出張者数	0 名
* 期末会員数		1,103 名

<会員数についての補足>

期首会員数 1,070 名には令和 2 年 4 月 1 日に協会へ入会の 4 名は含まない。
期末会員数 1,103 名には令和 3 年 4 月 1 日に協会へ入会の 11 名は含まない。
令和 2 年度の会員数は、期首と比べ 33 名の増加である。

第2号議案 令和2年度 決算報告承認の件

※決算報告書については、下記を別紙（PDFファイル）でご参照ください。

【貸借対照表】

【正味財産増減計算書】

【財務諸表に対する注記】

【財産目録】

第3号議案 理事の補充・選任の件

まちたに あつよし

【理事候補者】 待谷 忠孝

【理 由】 影山貴俊理事の辞任に伴う後任者の選任のため。

【任 期】 補欠により選任された理事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。